

神戸医療福祉専門学校中央校 学校関係者評価委員会 会議資料

【令和3年6月12日実施】

令和2年度自己点検自己評価(令和2年4月1日～令和3年3月31日)による

項目	点検項目	自己評価		自己点検	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価		学校関係者評価委員よりの御意見
		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1				適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1		
1 教育理念・目的・ 育人人材像	1-1-1 理念・目的・育人人材像は、定められているか	4		教育理念・目的・養成人材像は、明文化・文章化されており、事業計画に目標・方法等を具体化している。会議や研修等においては、理念等の徹底をしている。常に業界とのコミュニケーションを図り、産学協同での教育を心がけている。業界が求める人材像を明確にするために、中・長期の事業計画を策定し、毎年見直しをしている。事業計画では「地域連携」「業界との連携」を掲げ、特徴ある教育プログラムを構築し、変化する社会に対応するために、中・長期の事業計画を策定し、毎年見直しをしている。今後は、教育をとり巻く環境変化や学生の質的变化に対応するため、地域における活動や業界との連携を深めつつ、カリキュラムにはキャリア教育の実践を盛り込んだ内容を加え、さらなる職業人教育の質を高めていく。	職業人教育を通して社会に貢献することをミッションとし、3つの建学の理念(実学教育・人間教育・国際教育)の実践、4つの信頼(学生、保護者からの信頼・高等学校からの信頼・業界からの信頼・地域からの信頼)を得られる様に学校運営の中で、各業界のニーズに即した人材育成を行っている。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・これからも即戦力の育成、又業界ニーズに即した育成を合わせてお願いしたい。 ・長年の学校運営を通して理念が浸透し、定着している。 ・各業界からの信頼も厚く、素晴らしい人材を社会に送り出している。 ・しっかりと教育理念、目的、育人人材像が設定されている。 ・適切だと思う。 ・よく取り組まれていると思う。 ・臨床家による授業を取り入れるなど、卒後をイメージしやすい教育を実行されていると感じる。 ・よく取り組まれている。 ・適切である。 ・教育理念、目的、明文化、育成すべき人材像に適したカリキュラム、事業計画が策定されており、それが学校運営に携わる全教職員に共有されている。
	1-1-2 育人人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか							
	1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか							
	1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか							
2 学校運営	2-2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	4		法人としては、事業計画・運営方針を定めることを重要視している。運営方針は学校事業計画書内に理念、目標、具体的な計画等と関連つけて明文化している。	事業計画の構成は。組織目的(普遍的に学校が目指す開校、組織運営の目的)、運営方針(中期的に組織として目指す方針)、実行方針(中期的な組織の運営方針を実現する為の単年度の方針)、定量的目標(入学者・教育成果<中退防止・国家試験合格数>・就職率等)、定性的目標(人材育成や組織のあり方等単年度目標)、実行計画(その方針を実現させる為の具体的な計画)、組織図、職務分掌、部署ごとの計画・スケジュール、意思決定システム、収支予算書(5か年)で毎年作成している。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・一貫した筋の通った理念から事業計画があり、それに沿って運営ができています。 ・定量目標と達成目標がともに設定されていることが良い。 ・継続を実現するために必要な実践事項だと感じる。 ・よく取り組まれている。 ・円滑かつ効果的に学校運営を行うための組織体制、事業計画が用意されている。それらを有効に機能する意思決定システムも設備されている。
	2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか			毎年、業界のニーズに対応した事業計画・運営方針を作成するように努め、明文化された事業計画・運営方針を基に、学校運営に関わる全ての教職員が理解した上で各業務に取り組んでいる。				
	2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	4		運営のための組織図・職務分掌・会議の目的と主催者(決定権者)は事業計画に含まれており、会議・研修で共有している。会議、委員会等の議事録は開催毎に作成し、関係者に共有をしている。組織運営のための規則・規定を設け、運用に不足がある場合は、運営会議で検討し改正を行っている。	職員の職場に関するアンケートを実施。理念、目標の理解度や、職場満足度、各自の希望などの項目でアンケートを取り、その結果を受けての、職場環境の改善にも着手している。学校運営に必要な組織体制は整っていると思われるが、今後は各部署間連携を活性化し可視化することで新たな方向性も模索できるのではないかとと思われる。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・職場環境の整備を行うことでよりよい教育へ反映できると感じる。 ・職員満足度は学校の質に直結する為、アンケートの実施、フィードバックは有効的である。 ・さらなる活性化、可視化を通して、組織運営、学校運営が進むことを期待している。 ・適切だと思う。 ・コロナ対策など、これまでと違う対応が連続しておられると思う。必要に応じ、ストレスチェックなどを導入されることもあった方が良いと思う。 ・よく取り組まれている。 ・適切である。
	2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか							
	2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか			人事・給与に関する制度も就業規則に明示されている。				
	2-6-1 意思決定システムを整備しているか	3		意思決定システムは事業計画において明文化しており、諸会議の位置づけについても明記されている。意思決定を行う会議の進め方、結果の取り扱いを重視し会議毎に参加者は選抜され、その中で主催者に権限は委譲されている。	問題解決サイクル(問題発見⇒問題分析+仮説立案⇒対策立案⇒実行⇒検証)を回していることが意思決定プロセスを効果的に活用できている。学校運営を円滑に進めるには、個人レベルでの今後更なるスキルアップが必要である。	3.4		<ul style="list-style-type: none"> ・スキルUPなど今後の課題を実践して行ってほしい。 ・意思決定の明文化は組織の可視化につながるので続けてほしい。 ・個々のレベルアップを図るための取り組みが必要になると思う。 ・個人がPDCAサイクルの理解を、どの程度なされているかによって、問題解決サイクルの効果が大きく異なる為、組織としての説明の機会が必要。 ・よく取り組まれている。
2-7-1 情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか	4		システムは、学生・入学者・卒業生・実習先・就職先等の対象別、教務・就職・広報等の業務別、において幅広く導入されている。学校セクション毎の情報システム化、学生の情報の管理、その結果としての業務の効率化が推進されている。	業務の効率化と同時に、学生一人ひとりの情報を一元管理することにより、学生への様々な支援や求められる人材の養成や国家資格取得に結びつけることが出来る。その学生支援の精度を今後更に、高める必要がある。	3.9		<ul style="list-style-type: none"> ・システムの活用を今後もお願いしたい。 ・個人情報の取扱いに注意しつつ、一元化することで、きめ細やかなサポートになると思われる。 ・セクションごとに、情報システム化、管理が進められうらやましい。 ・業界のICT情報システムについて深刻な時代錯覚を感じる。学校が進んで改善されることを願う。 ・よく取り組まれている。 	

項目	点検項目	自己評価	自己点検	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	学校関係者評価委員よりの御意見
		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1	
3 教育活動	3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	4	厚生労働省による「介護福祉士養成施設指定規則」「あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師に係る学校養成施設指定規則」に従い教育課程の編成方針、実施方針を定めている。 編成方針や実施方針はディプロマポリシー(DP)やカリキュラムポリシー(CP)に反映させている。 修業年限に応じた教育到達目標については科目間の関係性を重視し、カリキュラムマップを作成し明確にしている。	修学2～3年間の流れや目標(教育課程)を入学前教育時から説明し、各学年時における授業開始前のオリエンテーションにて修学2～3年間、各学年時の目標を説明している。	4	・目標を定めて学習に取り組むことは大切であり良いと思う。 ・生徒が目標を明確に持ち、短い中・長期プランを持つことで達成への道のりが強固になると思う。 ・体制の確保ができていると思う。 ・よく取り組まれている。 ・適切である。 ・DP・CPへの反映を含め、理念に沿った編成方針、実施方針、教育計画が実践されている。
	3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか					
	3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4	厚生労働省による「介護福祉士養成施設指定規則」「あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師に係る学校養成施設指定規則」「精神保健福祉士養成施設等指導要領」に従い教育課程の編成をしている。将来、業界から求められる人材に必要な知識・技術の養成についてステップアップ(階段式)形態で初年度(1年次)より段階を経て基礎から応用実践までを編成している。	近年、カリキュラムに各校独自の特色を出すことも望まれており、介護総合演習や実技指導などにて卒業生の出講や、業界また他業種の方々により講義を実施している。	4	・基礎力UPから実践(演習)へと学習ラインを大切にしている。 ・卒業生を大切にされており、宝だと思う。 ・彼らの力を生かしながら、学校の特色につなげてほしい。 ・業界や社会ニーズを適確につかむため、外部の方々の講義を取り入れられているのが良い。 ・卒業生の出講には在校生のモチベーション向上につながると思う。ぜひ継続してほしい。 ・今後も、卒業生の活用を希望する。 ・よく取り組まれている ・適切である。 ・独自色のカリキュラムはもちろん、卒業生による講義や実技授業を積極的に導入し、知識、技術の育成・向上に努めている。
	3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	4	業界団体の学会・会合等への参加、業界開催の研修内容等の把握より業界や社会のニーズの把握に努め、教育に反映させている。	社会的ニーズを教育内容に反映させるため、講義・演習にて卒業生の講義や実技指導などを積極的に実施している。	4	・卒業生を大切にされており、宝だと思う。 ・彼らの力を生かしながら、学校の特色につなげてほしい。 ・卒業生により、現在の現場状況が授業内で伝言出来る体制を、今後も期待する。 ・よく取り組まれている。 ・適切である。
	3-9-3 キャリア教育を実施しているか	4	キャリア教育に対する考え方やフレームを「キャリア教育ロードマップ」として作成し、キャリア教育に取り組んでいる。実習や学外研修で職業人としての自覚や態度を涵養しつつ、専門知識・技術を生かすためのコミュニケーション能力、問題解決能力を身につける指導を実施している。	働くための知識・技術と社会人基礎力を踏まえたキャリア教育の充実が求められている現在、コミュニケーション能力は重要なポイントであると考えている。実習前後や普段より個別面談を実施し、振り返りを行うことで教育効果を上げている。特にコミュニケーション能力に問題がある場合はその状況(状態)の把握、学生自身によるその状況の認識、それによって発生する問題点、改善方法、目標を提示しながら進めることで、一様の成果が現れるケースもある。	3.9	・学生の弱点を強化し、学習へ反映する体制があると感じた。 ・立派な職業人を育成するためにも仕事に対する基本的な考え方を丁寧にご指導いただければと思う。 ・患者様はもちろん、同職種、他業種の連携が重んじられる業界で、コミュニケーションは最大のスキルに直すると思う。 ・学生生活の間に、コミュニケーションと連携に必要な知識とスキルを身につけ社会に出れると尚良し。 ・社会人として求められる対振の舞いなど、今後も指導の継続を期待する。 ・よく取り組まれている。
	3-9-4 授業評価を実施しているか	3	学期終了時に科目毎に授業に対するアンケートを実施している。アンケートは科目担当者へフィードバックし、より質の高い教育を目指し反映させている。	現時点では、対象を専任教員のみとしているが、今後は兼任教員を含めて実施したい。	3.4	・非常勤の先生方へのフィードバックも今後考えて頂きたいと感じた。 ・是非、兼任の先生方にもお願いしたい。 ・なかなか難しいことだと思うが、兼任の方の評価も入るとさらにいい。 ・ぜひ兼任教員の方もアンケート対象とし、質の向上を目指してほしい。 ・国家試験合格を目指す学生が多いため、質の高い授業を提供する目的で、アンケートに加え、学生面談も継続頂きたいと思う。 ・よく取り組まれている。 ・適切である。
	3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	4	成績評価や単位認定の明確な規定が学則や履修規定・試験規定により明文化されており、教員・学生ともに周知されている。また学生に対しては各学期開始前のオリエンテーションにて再確認を実施している。 卒業生の学会発表等の成果を把握し、授業でフィードバックしている。	定期試験の結果が国家試験出題範囲の理解となるような評価方法を検討するよう心掛けている。既に定期試験に関しては五者択一のマークシートを取り入れており客観的な評価の実施を目指しているが、思考力・表現力・文書力等の評価が難しくなる面を持ち合わせている。このため日頃より文章読解力の強化が図れる課題などを取り入れ「学習能力チェック」を実施する予定である。	4	・文章読解力は、世間全般でも低下していると聞く。できる限り読書をしてもらいたい。 ・マークシートでは表現力、思考力を図りづらいが世の中の流れから避けられないと思う。 ・文章読解力の強化が図れる課題はどのようなものか参考にしたい。 ・手厚い体制ができていると思う。 ・よく取り組まれている。 ・適切である。 ・成績評価、修了設定の基準は明文化されており、適切に運用されている。
	3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか					
	3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	3	学生便覧等に卒業後に得られる受験資格について明記されている。また、養成課程目標とする資格取得のために養成施設指定規則に定められた時間数以上の授業時間を確保している。 最終学年では国家試験合格に向けた年間タイムスケジュール作成や個々の学生の弱点科目(項目等)の把握に努め、到達状況の確認、指導を実施している。	1・2年次より国家試験を意識した授業を実施している。また、2年次では放課後学習会やST(スチューデント・ティーチャー)制度を導入し、個別指導の徹底を図っている。	3.8	・個別指導の強化を今後も続けてほしいと思った。 ・育成施設規定以上の時間数というのは大きな積み重ねになると思われる。 ・まだまだ改善の余地があると思われるところが良い。 ・継続を期待する。 ・よく取り組まれている。 ・適切である。 ・放課後学習やST制度導入による個別指導など、様々な手段を用いて指導体制を構築している。
	3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか					

項目	点検項目	自己評価	自己点検	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	学校関係者評価委員よりの御意見
		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1	
3 教育活動	3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	4	「介護福祉士養成施設指定規則」、「あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゆう師に係る学校養成施設指定規則」「精神保健福祉士養成施設等指導要領」の規定に基づき教員人数は充足している。新入職の兼任教員には、グループ校で講師研修、専任教員はFDマイクロレベル研修や公開授業を実施して、スキルアップを図っている。	教育力向上に向けて、学園グループのFD研修(ミドルレベル・マイクロレベル)を受講し、より質の高い教育を目指していきたい。専門性が高く、幅広い医学的知識を必要とするため関連セミナーや学会への参加を促している。教育理念を達成するために学科事務局組織を編成し、会議を実施し体制を整備している。また年度初めには各部署にて事業計画を作成し共有することで組織運営を実施している。	4	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の皆様が常に研鑽に励んでおられるのが良い。 ・適切だと思う。 ・継続を期待する。 ・研修の偏りがないかのチェックを複数で行われることもあってよいと思う。 ・よく取り組まれている。 ・適切である。 ・さまざまな研修機会を通じて、教育の資質向上に努めている。
	3-12-2 教員の資質への取り組みを行っているか					
4 学修成果	4-13-1 就職率の向上が図られているか	4	卒業生の就職内定率について、令和2年度介護福祉士科は100%(100%)、鍼灸科は86.7%(94.4%)、精神保健福祉士科は76.9%(89.2%)という結果を残している。()内は令和元年度	常に学生が求める就業先からの求人を得るために求人依頼を発送し、学生との面談を実施して希望就業の把握に努めている。令和2年度は、模擬面接の機会を増やした。また、コロナ禍での就職活動となったため、事業所と学校を繋いだweb面接に参加する学生が数名いた。	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ対策をしつつ、就職率UPを目標に実践している。 ・就職に関するサポートはこの上なく良好です。 ・コロナ禍での就職活動は思うような活動ができなかったと思うので、就職後すぐ離職してしまわないか心配する。 ・福祉職の就職課題の把握のため、卒業後の生徒へのフォローについても、特に定着率(1年後、3年後、5年後)が気になる。 ・よく取り組まれている。 ・就職率、資格免許の取得率向上のため、様々な工夫を凝らしており、学校をあげて取り組んでいる。
	4-14-1 資格・免許の取得率の向上が図られているか	3	令和2年度国家試験の合格率は以下の通りである。 介護福祉士 96.2%(71%) はり師 新卒91.7%(87.8%)、既卒33.3%(14.9%) きゆう師 新卒91.7%(89.1%)、既卒33.3%(16.2%) 精神保健福祉士85.2%(64.2%) 下記は令和元年度合格率 介護福祉士 90.9%(69.9%) はり師 新卒93.7%(73.6%)、既卒40.0%(17.4%) きゆう師 新卒93.7%(74.3%)、既卒40.0%(14.4%) 精神保健福祉士85.7%(62.1%) ※()内は全国平均	入学した全ての学生に目指す資格を取得させるという学園・学科のミッションを達成すべく、個々の学生の指導体制を整備・強化する必要があると考える。目標達成には初年度教育の充実、また保護者の協力が必要となっている。 はり師・きゆう師国家試験においては160問から総合領域という出題範囲をが設定され問題数が180問になった。 コロナ禍により従来の放課後補習ができなかったため、Google classroomを用いてWEB学習によるフォローを実施した。また、密を避けながら個別指導を行った。	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も合格率UPを目標として業界へ人材を送ってほしい。 ・目標を高く持ち、100%を目指して頑張ってもらいたい。 ・令和元年より少し低下した要因の分析がしっかりなされているので、今年度は向上されることを期待する。 ・全国平均を上回っているので問題ないと思うが、既卒者の合格率が課題だと考える。 ・国家試験の合格率が全国平均以上の結果が出ている。なお一層、100%の合格を目指して取り組んでほしい。 ・全国的にも高い合格率を出せているため、問題はないかと思う。 ・強化については期待する。
	4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	3	卒業生の活躍は就業先からの評価や役職への登用、独立開業者の増加、実習指導の出来る卒業生の増加などから評価できると考える。 前年度、前々年度卒業生の動向の確認などを定期的実施していることから把握していると考え。	就業先への訪問や業界会合への参加等を通して、業界のニーズを把握し卒業研修を充実させる必要がある。就業先において役職への登用や企業した卒業生へ講師依頼を行い、講義・演習等を実施している。	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の卒業生が活躍している姿を見せることにより、モチベーションがUPする。 ・卒業生の講師登用で卒業生もやりがいを感じ成長できている。 ・卒業生への接触は大変な作業かと思うが、協力を希望する卒業生もまだまだおられるかと思うので継続を期待する。 ・よく取り組まれている。 ・適切である。 ・社会で活躍する卒業生と在校生の接点を授業に取り入れることで、自身が抱く将来像に大きな意味や影響を与えようとする。
5 学生支援	5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	4	就職支援機能を学科内に置き、専任教員が学生への就職支援相談を実施している。	就職支援に関しては関係する法規やマナー、面接技法などを授業で指導している。また就職に関する調査アンケートを個別に実施し、就職相談や求職依頼に活用している。	4	<ul style="list-style-type: none"> ・手厚くサポートされている。 ・問題なし。 ・よく取り組まれている。 ・適切である。
	5-17-1 退学率の低減が図られているか	3	退学の理由としては学力不振が最も多いが、近年では学力不振の背景に心理的な課題や目的意識の喪失などが伺える。退学率の低減のために学生個人の特性を理解するためにサポートアンケートを実施し、学生個別面談への活用や日々の学生動態と照らし合わせて学生の変化を察知できるよう努めている。またスクールカウンセラーや進路変更委員等が退学防止に向けた取り組みを行っている。	入学時や在学中も目的目標設定を明確にできるよう授業内や個別面談によりモチベーションの維持に努めている。 進路変更委員も含んだ教職員個々のカウンセリング力のさらなる向上が求められる。また、保護者との連携の強化も必要となる。 令和2年度は、緊急事態宣言の発出もあり、5月末～6月の開校となった。開校直後の退学者もおり、新型コロナウイルスによる影響があった。また、学生生活におけるストレスマネジメントなどの課題も出た。	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・退学の理由は色々あると思うが、学力低下の退学に対するフォローも今後必要と思う。 ・新型コロナウイルスがこのようなところにも影響があるのを知った。個別のきめ細やかな対応が大切だと感じた。 ・スクールカウンセラーや進路変更要員の方が退学防止に向け取り組まれているが、なかなかストレスマネジメントをうまくできるかは難しい。 ・コロナ禍における課題に早めに着手頂ければと思う。 ・学内に留まらず、外部の専門職との連携もお願いできればと思う。 ・よく取り組まれている。 ・適切である。 ・学生本人だけでなく、保護者との連携、意思疎通を積極的にしていながら、日々の生徒の問題解決に丁寧に取り組んでいる。
	5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	4	学習面、メンタル面・健康面、経済的な問題などの相談を各所で受け入れる体制を整備し、有効に機能させている。必要な学生には、学内のスクールカウンセラーを配置し、カウンセラーと教職員がチームとしてアプローチし、問題の解決にあたっている。 留学生に関しては通常授業以外の時間帯を設定し、対応を始めている。日本語能力の向上と文化について広く身につけて頂けるように組織として支援している。	学生の多様な問題に対応するため、サポートアンケートの活用、教職員のスキルアップ、カウンセラーとクラス担任との連携の強化などを行う。 一昨年に比べ、スクールカウンセラー(相談室)の利用が増えている。利用によりモチベーションの向上が得られたケースも認められている。	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ・メンタルヘルスへの課題もある。 ・スクールカウンセラーの利用が増えているのは相談しやすい雰囲気が向上したこともあると思われる。 ・外部専門職との連携継続を希望する。 ・よく取り組まれている。 ・適切である。 ・カウンセリングによる相談、問題解決サポートの体制が用意されている。
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか						

項目	点検項目	自己評価	自己点検	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	学校関係者評価委員よりの御意見
		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1	
5 学生支援	5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	4	学生の経済的側面の支援は、フィナンシャルアドバイザー研修を受けた職員によって①入学前②入学後において個別相談を実施している。学費相談を受けた学生個人に応じて、学費支払いと奨学金制度での資金のやり繰りにおいてシミュレーションを実施している。学生支援機構においては借り過ぎ防止にも努めている。健康面については、学校健康法に基づき4月の健康診断の実施、必要に応じて再検査の案内を行っている。	学費支援システム・特待生選抜制度・在校生援助奨学金・学びなおし支援金など複数の学校独自の支援制度を活用し、個々の学生の状況に応じたサポートを行う。特に奨学金の借り過ぎ防止の対策と卒業学年においては就職状況も把握することを努めていきたい。健康面においては、再検査の受診率100%を目指す。	4	・経済的フォローは、今後も大切だと思う。基盤を確保することにより、学業への取り組みがUPすると思う。 ・様々な事情を抱えた学生がおられると思う。学業が心配なく続けられるようにサポートをお願いしたいと思う。 ・手厚い体制が整えられていると思う。 ・よく取り組まれている。 ・適切である。 ・複数の学校独自の支援制度が用意されており、個々の学生に応じたサポートができる環境となっている。
	5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか					
	5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか					
	5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか					
	5-20-1 保護者との連携体制を構築しているか	4	本校のミッションである職業人教育や就職、学生の資格取得実現のためには学校だけでなく家庭を中心とした学校外での学生動向も把握するように努め、問題解決にあたり、保護者との連携の強化を図っている。	入学直前に保護者会を実施、また、入学式後に学校代表、学科代表、教職員の紹介などの場を設け、学校の考え方、支援方針と体制をご理解頂き、保護者に学校との協力をお願いしている。	3.9	・コロナ禍で保護者も不安が大きいので細やかな発信をお願いしたい。 ・ZOOMによる保護者会などはどうか？ ・卒業すぐに保護者としての満足度アンケートがあっても良いと思う。 ・よく取り組まれている。 ・適切である。
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	3	卒業生との(業界)連携はますます重要になってくると考えられ、学科ごとの卒業研修を充実させる必要がある。現在、求職や開業相談、法改正に基づく変更点など様々な情報を発信している。産学連携による再教育に関してはSNSなどを活用し、業界団体また関連職種が開催する講習会等の案内を伝達し参加を促している。	SNSなどを活用し卒業生の近況の情報収集を行い、必要に応じて卒業生への支援を実施している。卒業教育に関しては学校行事等の兼ね合いより実施できていない現状である。	3.3	・SNSを活用し卒業生からの業界情報をとることは大切であると思う。 ・他校と比べても卒業生のつながりやサポートに素晴らしいものがある。 ・コロナ禍でなかなか卒業教育が思うようにできなかったことが残念である。 ・感染症の兼ね合いから、学校行事の実施ができないことは致し方ないのではないかと。 ・SNSの活用及び拡大を期待する。 ・よく取り組まれている。 ・適切である。 ・卒業生との関係を維持継続することで、現場が必要としている事項や動向を取り入れることができるので力を注いでほしい。	
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか						
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか						
6 教育環境	6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	4	厚生労働省による「介護福祉士養成施設指定規則」、「あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師に係る学校養成施設指定規則」「精神保健福祉士養成施設等指導要領」に従い、設備・教育用具等を整備している。	教育効果とその必要性を検討し実習施設の拡充、教育用具等の充実をさらに図る必要がある。	3.9	・設備費用がかかるので大変だと思う。寄付金が集まればよいと思う。 ・問題ないと思う。 ・よく取り組まれている。 ・適切である。 ・教育に必要な設備、施設は万全に整えられており、問題は見当たらない。
	6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	4	滋慶学園の建学の理念である「実学教育」「人間教育」「国際教育」の一環として学外実習や海外研修を実施している。	学外実習は、新型コロナウイルス蔓延防止のため、一部学内実習に切り替えた。状況が許せば、学生にとって多岐に渡るケースに触れる機会を多く設けたい。海外研修は、介護福祉士科はオーストラリア、鍼灸科はタイで実施する予定であったが、介護福祉士科は、参加希望者が最少催行人数に達しなかったため、鍼灸科は、外務省より渡航中止が発令されたためともに中止とした。	3.4	・コロナ収束に伴い、プランを考えているところかと思われる。 ・早くコロナが収束し、外に出られるようになることを願うばかりである。 ・コロナ禍で実習ができない場面もあったとのことで、ワクチン接種がすみ早く通常の活動が実施できるようになればと思う。 ・コロナ禍における家庭の収入はより減少するのでは？ ・海外研修のあり方を見つめ直しては？ ・卒業後の横のつながりに影響がないことを願う。 ・実施体制として整っていると思う。 ・学外実習が困難であった場合には、習熟度の開きがあることが想像されるため、より手厚いフォローを期待する。 ・よく取り組まれている。
	6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	4	想定される災害に対する防災体制は整備されており、緊急連絡メールシステムが設置されている。消防訓練は、消防署員立会いの下で年1回行っており、評価を翌年に生かし改善している。緊急地震速報対応訓練も行っており、AEDは設置済みで月1回の点検を行っている。また、損害保険などにも加入している。	緊急時により近い消防訓練を行うため、各担当者の役割を越えた訓練を通して安全管理体制を強化をしたい。教職員は、AED利用講習会は受講しているが、緊急時に活用できるかどうか定期的な研修を三田校で予定している。	4	・災害時は、誰もが慌てふためくので、平時の訓練により、身体に染み付けることが大切である。 ・よく取り組まれている。 ・適切である。 ・消防やAEDといった防災訓練が定期的かつ計画的に実施されている。
6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか						

項目	点検項目	自己評価	自己点検	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	学校関係者評価委員よりの御意見
		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1	
7 学生の募集と受け入れ	7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	4	兵庫県専修学校各種学校連合会の規定に基づき、募集開始時期、募集内容(入試日程・入試制度・特待生試験・学費明記など)を決めている。入学案内は、三田校と共通のもので、学校・学科・設備・在校生、卒業生紹介・就職支援や実績・オープンキャンパス等が理解できる様に編集し、それを基にホームページも整備している。個人情報保護委員会を設置し情報を管理している。	モチベーションの維持・強化をするために、入学前にはオープンキャンパス→入学前教育を実施し、入学後の授業や学生生活、職業観を意識した形での教育を実施し、スムーズに専門教育に取り組める様していく。また同時に職業に関する啓蒙活動にも取り組んでおり、業界と連携し、中学生のとらいやウイークでの介護職経験の実践の機会を提供している。今後一層拡大していきたい。またコロナ禍の影響を鑑みWEBでのイベントを積極的に行ない、来校型だけでなくWEBでの参加や個別相談を活用し、入学に結びつくケースも多く存在しているため、このような機会を増やしていきたい。	4	<ul style="list-style-type: none"> WEB活用をしていく。 コロナの副産物としてWEB環境の向上が上げられる。今後も生かしてもらいたい。 他の専門学校に比べ学生数が確保できているので適切だと考える。 効果的な体制及び行動が行われていると思う。 よく取り組まれている。 学生募集は連合会が定めるルールを守り、ホームページを有効に活用しながら適正・適切な手順で行われている。
	7-25-2 学生募集を適切かつ効果的にしているか					
	7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	4	学則を基にし、募集要項で明記した入学選考方法通りに選考をしている。各回の選考に関しては、スケジュールを募集要項に明示し、決められた日程に実施している。また、選考終了後は判定会議により可否を確定する。面接、提出書類、選考試験の結果を踏まえ、将来医療・福祉の業界で働くことに適性があるかを総合的に判断している。	将来の希望分野への適性をきちんと見極めるため、面談の比重を高めている。結果として学力のみにとらわれない、モチベーションの高い学生確保に役立っている。また、AO入試を導入し、学力に捉われず、キャリア教育の一環として、やる気を重視した入学選考を継続する。	4	<ul style="list-style-type: none"> やる気、本気を重要とした選考も大切である。 今の時代に定員満員の入学のこと、素晴らしいと思う。 よく取り組まれている。 適切である。 学則、募集要項に定める入学選考基準に従い、可否確定等が行われており、すべては適切に運用されている。
	7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか					
7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	4	学納金は、各学科の教育目標達成を目指した学校運営に必要な金額であり、人件費、実習費、施設運営費等に当てられている。毎年、各学科において教材及び担当講師の見直しを行っており、諸費用の無駄な支出をチェックしている。各学科から提出された案を元に運営会議にて検討され、決定をしている。また、入学辞退の取り扱いについては、募集要項に明記して対応している。	入学以前の募集要項や説明会において、事前に年間必要額を明示しているため、保護者に関しては年間支出計画を立てやすい。また、高等学校在学者に対しても、日本学生支援機構の予約採用のアナウンスや教育ローンの案内をするなど、学費負担者の立場にたったのアドバイスを実施している。	4	<ul style="list-style-type: none"> 1年間の支出プランを考えていくことで、計画が立てやすくなっている。 毎年、経費の見直しは難しい事柄である。特に人件費のチェックは大変なのに取り組んでおられ、それ故に健全に運営されていると思う。 経費内容について丁寧に説明、提示されていることは、保護者、学生にとって安心できる。 募集に際し、必要となる費用が提示されているので良い。 よく取り組まれている。 適切である。 先5年を見越した収支計画、予算編成が策定されており、監査・情報公開体制に関しても適切に対応・運用がなされている。 	
						7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取り扱いを行っているか
8 財務	8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	4	5ヶ年を見越した収支計画は中長期的な視点で考えているため、財務基盤の安定に資するための大規模な計画もじっくりと立てることができ、この方針は今後も続けていく。	安定した運営を継続的に行うため、各学科における1学年の募集定員、介護福祉士科40名、鍼灸科30名、精神保健福祉士科40名の定員充足率100%を目指し、退学率4%以内を目指す。	4	<ul style="list-style-type: none"> 今後も定員100%の維持をお願いしたい。 適正利益を確保することで、継続・持続可能な学校運営ができると考える。 予算・実績管理を行うことで安定した学校運営をし、学生の社会輩出を続けてほしい。 よく取り組まれている。
	8-28-2 学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか					
	8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	4	5ヶ年を見越した収支計画を作成しているが、学校、学園本部、理事会・評議員会と複数の機会をチェックするためにより現実的に即した予算編成になっているものと考え。学校の財務体制を管理し、健全な学校運営ができるように予算・収支計画は有効かつ妥当な手段として利用されている。	予算→四半期予算実績対比→決算という流れの中で、収支計画が実現可能なものとなり、財務基盤の強化につながっている点の特徴として挙げられる。	4	<ul style="list-style-type: none"> 四半期対比でチェックされているのはきめ細やかだと思う。 よく取り組まれている。 適正利益を確保することで、継続・持続可能な学校運営ができると考える。
	8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか					
	8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	4	私立学校法に基づく業務並びに財産の状況について監査を実施している。現在のところ、監査報告書は適正な計算書類を作成している旨の意見が述べられており、適正な計算書類を作成していると考え。監査を有効に実施するため、証憑書類の整理、計算書類の整備、各種財務書類の整理整頓に努めている。	内部・外部両監査時における改善意見について記録し、適切かつ迅速に対応する。	4	<ul style="list-style-type: none"> 法令遵守は組織で一番大切なことである。透明性を保ち、監査指導をありがたく受け止めて下さい。 監査体制の確保もある為、問題ないと思う。 よく取り組まれている。 適正利益を確保することで、継続・持続可能な学校運営ができると考える。
8-31-1 私立学校法に基づく財務公開体制を整備し、適切に運用しているか	4	財産目録、貸借対照表、収支計算書、監査報告書など財務情報公開の体制整備は出来ている。	当法人の財務情報公開に関しては、常務理事が統括し、事務局長が責任者として担当する。また、事務担当者置いて現場対応を行っている。＜公開書類＞1. 財産目録2. 貸借対照表3. 収支決算書4. 事業報告書5. 監査報告書	4	<ul style="list-style-type: none"> 正確な財務諸表は健全な運営の証となると思う。 よく取り組まれている。 適正利益を確保することで、継続・持続可能な学校運営ができると考える。 	

項目	点検項目	自己評価		自己点検	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価		学校関係者評価委員よりの御意見
		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1				適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1		
9 法令等の遵守	9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4		法令や設置基準の遵守に対応する体制作りは、整備されている。カリキュラムや教員要件はしっかりチェックし、教職員の啓蒙として、法令や設置基準を遵守に対する研修を実施している。	監事による毎年の監査に際して、業務監査の対象としてコンプライアンスの実施状況についても監査してもらっている。	4		<ul style="list-style-type: none"> 法令遵守することが守られている。 監査は自己点検の一番のツールだと思う。有効に生かして向上を目指して頂きたい。 法令遵守についてきちんとチェック体制が構築されているのがよい。 要件チェックを複数人で行われることがあればいいかと思う。 よく取り組まれている。 個人情報保護から自己評価、点検の実施体制を含め各種法令や基準率を厳守し、適正な学校運営が実施できている。
	9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	4		学内で個人情報保護規定を定め、個人情報保護委員会を中心となり運用している。教職員に対しては、個人情報保護責任者は認定CPOアカデミック講座を通して、学校等における個人情報管理責任者として必要となる知識を習得。教職員は、認定CPAアカデミック講座を通して学校等における個人情報取り扱い従事者として個人情報を取り扱うために必要となる知識を習得した。それぞれ更新講習に取り組んでいる。学生と講師に対しては、オリエンテーションなどにおいてITリテラシーについてや個人情報保護について冊子を用いて伝えている。	外部機関の「TRUSTe」より国際規格の認証を獲得し、ホームページ上に明記している。学生と講師に対しては、オリエンテーションなどにおいてITリテラシーについてや個人情報保護について冊子を用いて伝えている。	4		<ul style="list-style-type: none"> これからも個人情報の保持をして頂きたい。 ITリテラシーの教育は大切なSNSの普及により、簡単に情報が流出してしまうのが恐ろしい。継続しての教育をお願いしたい。 SNS拡大と個人情報保護の範囲拡大はセットかと思うので、継続の伝達を期待する。 よく取り組まれている。 適切である。
	9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	4		年1回自己点検・自己評価を行い、学校関係者評価委員会で意見収集し、その結果をホームページに掲載している。	学校関係者評価結果に基づき短期的・中長期的課題の整理を行い、改善に取り組む。	4		<ul style="list-style-type: none"> ホームページの活用を今後もして頂きたい。 学校評価に関わらせていただき、本当に謙虚に前向きに改善に取り組まれていることを感じる。 体制の確保はされており、問題ないと思う。 よく取り組まれている。 適切である。
	9-34-2 自己評価結果を公表しているか							
	9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか							
9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか								
9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	4		教育情報については、自己評価・自己点検の結果等と合わせてホームページに掲載している。	ホームページに掲載している教育情報については、必要に応じて更新をする。	4		<ul style="list-style-type: none"> ホームページの活用を今後もして頂きたい。 ホームページの検索数の把握などの研究もお願いしたい。 よく取り組まれている。 適切である。 	
10 社会貢献・地域貢献	10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3		教育資源を活用した社会貢献については、近隣の福祉施設、高等学校、関連団体とある程度の連携・交流は出来ている。地域貢献としては、定期的な近隣清掃及び防災ボランティア等への積極的な参加などを実践している。諸外国の学校などとの連携については、海外研修において、介護福祉士科はオーストラリアのラ・トロップ大学を訪問しており、鍼灸科は新型コロナウイルス感染拡大のため、学生の安全を第一に考え、中止とした。	地域防災ボランティアや地域健康増進推進事業への教員ならびに学生の参加。高等学校への講師派遣ならびに県下スポーツ競技へのトレーナー派遣を実施している。令和2年度海外研修の参加について、介護福祉士科は、参加希望者が最少催行人数に達しなかったため中止とした。 ・鍼灸科は、外務省より渡航中止が発令されたため中止とした。	3.2		<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の為、実践が著しいと思われる。学生の安全をポイントとしている。 中止はやむを得ないこととはいえ、学生の皆様にとっては残念だ。早期回復を願う。 コロナ後には、例年通り実施できることを期待している。 対外に向けた活動は素晴らしと思う。 外で気兼ねなく活動ができるようになった際には是非数を増やした方がよい。 コロナ予防接種がオリンピック前に加速されるが、注射の射手手に鍼灸師が手を挙げてみては？・業界・学校関係者が一団となって、名乗りをあげる。 予防接種についての知識等、感染症についての指導を望む。 感染拡大により、実行が困難な場合も多いかと思うが、計画はこれまで通り継続して頂きたい。 よく取り組まれている。
	10-36-2 国際交流に取り組んでいるか							
	10-37-1 学生ボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	4		ボランティア活動の場は対人援助職に求められるコミュニケーションスキルの向上に役立つため、学生への参加を促している。	地域防災ボランティアや地域健康増進推進事業への参加や地域清掃を実施している。	3.9		<ul style="list-style-type: none"> ボランティア活動を通じて、学生の成長が期待できる。 災害時の精神的覚悟についても話せる場があるといい。 対外に向けた活動は素晴らしと思う。 外で気兼ねなく活動ができるようになった際には是非数を増やした方がよい。 地域清掃の姿も見る機会があり好印象を持っている。 よく取り組まれている。 地域に愛される学校を目指して、社会貢献活動は継続、取り組みを希望する。